

入院診療計画書

小児気管支炎

様

入院説明日：

病名および症状

[ ]



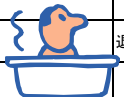




治療計画

[ ]

診療科：小児科

病棟：

治療・看護等計画表

	外来	入院当日(1日目)	2-3日目	4-5日目	退院日	次回外来まで
月日		月 日( )	月 日( )	月 日( )	月 日( )	月 日( )
検温		1日4回はかります 呼吸状態の観察のためのモニターをつける場合があります		熱がさがってきたら、1日2~3回はかります 呼吸状態がおちつけばモニターをはずします 		
安静		ベッド上で安静(トイレ、洗面は可です)にしてください お子様同士の接触は感染の危険性がありますので避けてください 		室内で安静にしてください		通園 通学について主治医から指示がでます
安全		ベッドからの転落を予防するため、ベッド柵は最上段まで上げてください				
食事		原則は普通食です。点滴で水分や糖分の補給などを十分に行います (食事内容の変更は可能です。食べ物の持ち込みについては必ず看護師にご相談ください)				
清潔		1日1回および必要時に身体を拭きます		点滴が中止になればシャワー、入浴ができます 		退院後は入浴可となります
排泄		オムツは、ビニール袋に入れてください 感染力の強い菌が検出された場合、室内での排泄になることがあります				
注射		点滴を開始します(水分・糖分補給のため) 抗生剤の注射(点滴から)を1日3回行います	そろそろ解熱や咳の軽減が見られるころです 	2回目の検査を行い、結果が 良ければ点滴を中止します	お子様の状態およびご家庭 の都合等に合わせて、適宜 日程を調整します	次回外来受診日をお知らせします
内服	常用している薬があれば、申し出てください	今まで飲んでいる薬があれば看護師に申し出てください 痰を出しやすくして咳を鎮めるお薬や抗生物質などが処方されます 飲めなかったり、吐いてしまった場合は看護師に連絡してください 喘鳴(ゼーゼー)が強いお子様には気管支を拡げるために吸入などが処方されます 				退院処方があります 退院後約1週間内服します
診察		主治医の診察は毎日あります。毎週金曜日の午後には部長回診があります				
説明	日常生活について伺います ・入院申し込み ・入院診療計画書	主治医から入院時の病状について説明があります 看護師から入院生活について説明があります	入院中、適宜病状その他についてご説明しますが、 ご不明の点はいつでもお尋ねください 	病状についての説明があります		退院後もしばらく咳が残ることがありますが、 発熱がなく元気であれば心配いりません
検査	血液検査 尿検査 胸部レントゲン 培養検査 などがあります	入院時検査 1)血液検査、尿検査 2)胸部レントゲン 3)培養検査 などに必要に応じて行います	状態が改善しない場合は、必要に応じて 追加の検査を行います	退院前検査 1)血液検査 2)胸部レントゲン などに必要に応じて行います 		
その他		何かありましたら、遠慮なく申し出てください 以上につきましては一般的な経過ですが、状況に応じて予定が変更になることがあります				

説明医師

Ⓜ

受け持ち看護師  
説明看護師

患者または  
家族氏名

注1:病名などは、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることがあります  
注2:入院期間については現時点で予想される期間です。ご了承ください。

上記の説明を受け、理解しましたので同意します

平成 年 月 日